

【 様式1:認定資格研修 】

令和 年 月 日

放課後児童支援員の鹿児島県認定資格研修受講申込書

鹿児島県知事 殿
(関係市町村経由)

申込者(受講者)

氏名	ふりがな
	印 (申込者自署の場合は押印不要)

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準第10条第3項の規定による認定資格研修の受講を次のとおり申し込みます。

生年月日	☐ 昭和 年 月 日 (歳) ☐ 平成	性別	☐ 男 ☐ 女
住所	〒		
電話番号 (確実に連絡が取れる番号を記載してください。)	☐ (自宅) ☐ (携帯)		
受講希望研修(会場)名	☐ 第1回認定資格研修(鹿児島会場) ☐ 第2回認定資格研修(霧島会場) ☐ 第3回認定資格研修(鹿屋会場) ☐ 第4回認定資格研修(北薩会場)		
所属している放課後児童クラブの名称及び所在地等	名称		
	所在地		
	電話番号		

写真添付欄

枠内で収まるサイズで、顔が鮮明に写っているもの

写真の裏側に氏名、生年月日を記入の上、全面のりで貼ってください。

写真は、最近3か月以内に撮影されたものに限りです。

受講資格 「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」の各号	☐ 1号 保育士（☐ 保育士証） ☐ 2号 社会福祉士（☐ 資格証） ☐ 3号 高等学校等を卒業した者等であって、2年以上児童福祉事業に従事したもの（☐ 高等学校の卒業証明書， ☐ 実務経験証明書） ☐ 4号 幼稚園，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校又は中等教育学校の教諭となる資格を有する者（特別支援学校の教員免許、臨時免許状、特別免許状、養護教諭免許を有する者も含まれます。） （☐ 資格証 ※資格証の発行が困難な場合は資格証の授与証明書又は更新講習修了確認証明書でも可でも可） ☐ 5号 大学において、社会心理学等を専攻する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者（☐ 大学の卒業証明書， ☐ 科目履修証明書） ☐ 6号 大学において、優秀な成績で単位を取得したことにより大学院への入学が認められた者（☐ 大学の成績証明書） ☐ 7号 大学院において、社会心理学等を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者（☐ 大学院の卒業証明書） ☐ 8号 外国の大学において、社会心理学等を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者（☐ 外国の大学の卒業証明書） ☐ 9号 高等学校卒業業者等であり、かつ、2年以上放課後児童健全育成事業に類似する事業に従事したものであって、市町村長が適当と認めたもの （☐ 市町村長に対する認定願 ☐ 高等学校の卒業証明書 ☐ 従事証明書） ☐ 10号 5年以上放課後児童健全育成事業に従事したものであって、市町村長が適当と認めたもの （☐ 市町村長に対する認定願 ☐ 従事証明書）
科目の一部免除申請 <u>（一部免除を希望する場合は必ずチェックすること。）</u>	☐ 1号 保育士の資格を有する者 「子どもの発達理解」，「児童期（6歳～12歳）の生活と発達」，「障害のある子どもの理解」，「特に配慮を必要とする子どもの理解」 ☐ 2号 社会福祉士の資格を有する者 「障害のある子どもの理解」，「特に配慮を必要とする子どもの理解」 ☐ 4号 教諭の資格を有する者 「子どもの発達理解」，「児童期（6歳～12歳）の生活と発達」
備考 （一部科目のみの受講を希望する場合はその科目を記載すること。）	

- (注) 1 太枠内に黒色ボールペンを用いて楷書で記入してください。
- 2 ☐ 欄には該当する項目にレ点を付してください。
なお，「科目の一部免除申請」欄には，保育士，社会福祉士又は教諭の資格を有する者のうち免除を希望する場合は，☐ にレ点を付してください。
- 3 本申込書に記載いただいた情報は，放課後児童支援員認定資格研修に関することに使用するほか，子ども家庭庁への資格認定者情報の報告及び都道府県間の相互の利用・提供のために使用します。

受付事務(※ 市町村記入欄)

—

(建制順) (市町村順番)